

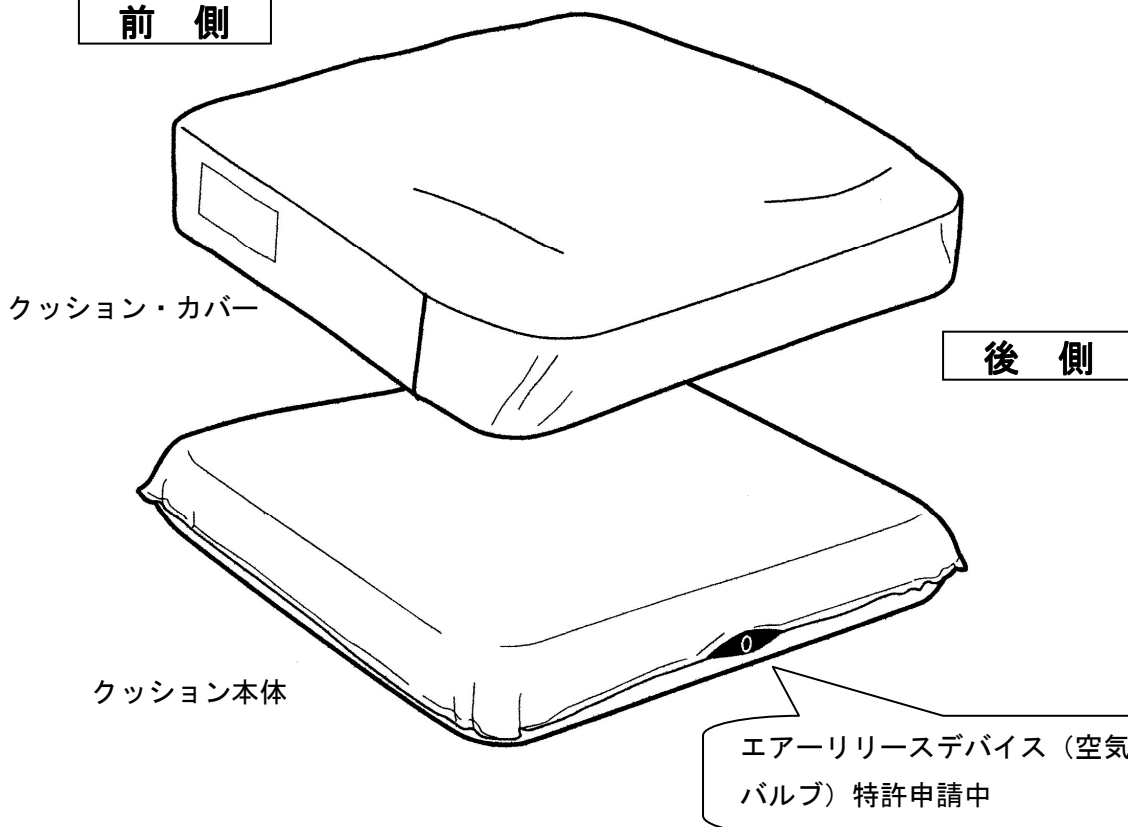


リフレックス REFLEX 取扱説明書

調整不要のシーティングシステム

安全に製品をご使用になるために、この取扱説明書を必ず読んでから、
本製品をご使用ください。

前側



重 要

この製品を供給される販売店様へ：

必ず、このマニュアルをご使用者ご本人または、介護をされていらっしゃる方にお渡しください。必ず、ご使用方法・メンテナンス情報を提供してください。

この製品のご使用者様、または介護をされていらっしゃる皆様へ：

必ず、ご使用前にこの取扱説明書を読み、常にいつでも見られるように保管してください。

もし、ご不明なことがございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

株式会社ユーキ・トレーディング 福祉機器事業部

電話番号 03-3821-7331 info@yukitrading.com



警 告

- 車いす上でクッションを変更すると、車いすの座面の高さ、背シート、フットサポート、アームサポートなどの調整が必要になる場合があります。シーティングに詳しいセラピストなどへ相談し、ご使用者に適合した車いす・クッションの調整を行ってください。
- 特に骨盤の骨突出部周辺の皮膚チェックは、定期的に規則正しく皮膚に赤みがないかどうかを観察してください。ご使用者に合ったチェック方法などは、シーティングに詳しいセラピストへご相談ください。

1. クッションの使い方

ご使用者がクッションに座ると、内蔵されたエアーリリースデバイス（空気自動開放バルブ）は自動的に空気を放ちます。そして、シーティングに必要な空気の容量を残して自動的に内蔵のバルブが閉まります。そのため、骨盤の突起部が底着きする心配がありません。走行中の振動に対しても、姿勢を変更したときも空気抜けの心配がありません。

1-1：クッションの膨らませ方

クッションは何も重さがかからない状態では、ウレタンフォームが復元されるに従い、空気がクッション内に取り込まれ、自動的に膨らみます。毎回、ご使用者がクッションから離れるたびに、空気がクッション内に取り込まれ、自動的に膨らみます。

1-2：クッションへの座り方

① 車いすの座シートに正しい向きでクッションを置いてください。

持ち手がついて「FRONT」と印刷された側が車いすの前面になるように置いてください。

このとき、クッションは膨らんでいます。

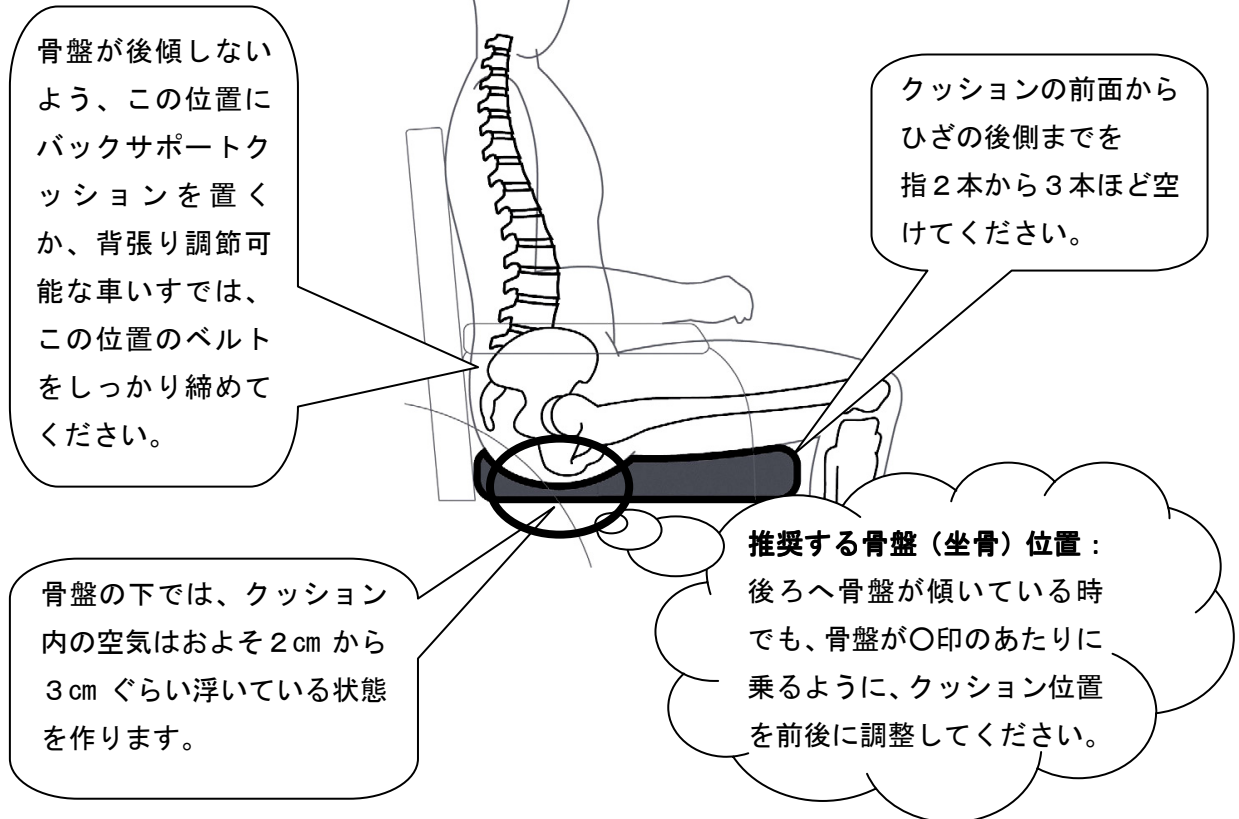
② 車いすの上へ移動。

ゆっくり、静かに、右図のように推奨される位置に座ってください。必要な空気容量まで空気は開放され、およそ臀部が5cmほど下に沈むと自動的に空気抜けが止まります。

骨盤が後傾している方：車いすの奥まで深く座れない方は、骨盤が推奨される位置に来るよう、クッションを前方にずらして位置を調整してから、お座りください。このとき、クッション内にソリッドインサートパネル（別売り）を挿入したり、車いすの座シートにベルクロテープなどを縫いつけ、クッションがズレないように固定されることをお勧めします。

※ ご注意：カバーの底面に黄色い剥離紙が付いた5cm角のオス面ベルクロが4枚、メス面ベルクロに着いています。通常はこのオス面ベルクロを剥がしてからご使用ください。剥がさずにご使用されますと、底面の滑り止め加工の効果が落ちます。オス面ベルクロは、別紙の使い方をご参照ください。

お勧めする座位姿勢



リフレックスご使用上のご注意

- 赤いプラグは洗濯の際にのみご使用ください。座る時にプラグをバルブに差し込んでいると空気の調整が出来なくなります。
- 本体後方についているバルブを持ったり、引っ張らないで下さい。バルブが故障する恐れがあります。
- 本体にカバーをかける際、バルブが折れ曲がったまま面ファスナーを閉じないようにご



注意下さい。

バルブ



全ての VARILITE シーティングシステムのためのご注意

- VARILITE クッションは、必ずカバーを付けてご使用下さい。
- カバーはクッションを穴あき・汚れ・本体側生地への磨耗から保護するのに役立ちます。
- VARILITE クッションを先のとがったものや火のそばに置かないで下さい。
- クッションの上に、先のとがったものや重いものを乗せないでください。
- 長い期間、極端に暑いところや直射日光のあたるところに保管・放置しないでください。

2. クッションの手入れ・洗濯

○ クッション・カバー：

カバーはクッションから取り外して、洗濯ネットに入れ、洗濯機で洗濯できます。

洗濯後は、陰干ししてください。（60度以下のお湯または水で中性洗剤をご使用ください。）

乾燥機はカバーの形が変形する危険性がありますので、使用しないでください。

※ クッションにカバー掛けする際、前後左右の向きを必ず確認してください。

○ 本体：

クッションの後側にある丸い空気開放口に、赤いプラグをしっかりと挿入してください。

※ クッション内に絶対に水が入らないようにご注意ください。

赤いプラグをしっかりと挿入されているのを確認してから、クッションを石鹼又は中性洗剤を用いてぬるま湯で手洗いしてください。再び使用する前に、すべての部分が乾いていることを確認してください。

クッションの中に水が入ると十分に膨らまなくなる危険性がありますので、ご注意ください。

3. 穴あきについての調べ方

ご利用者様がご使用中に、クッションから空気抜けが感じられる場合は、穴あきの恐れがあります。そのままのご使用は危険ですので、下記の方法で調べてください。

○ 視覚の点検

まずは、クッション・カバーを取り外して、完全にふくらんだクッションとカバーに鋭利なものが刺さっていないか、視覚的にご確認下さい。穴あきが確認されたなら、販売店または弊社へご連絡下さい。穴あきが見つからないときは、下記の水中テストを行ってください。

○ 水中テストの仕方

1. 大きい流しまたは桶に、10cm位の高さまで水で満たす。

2. クッション・カバーを取り外してください。

3. クッションの後側にある丸い空気開放口に、赤いプラグをしっかりと挿入してください。

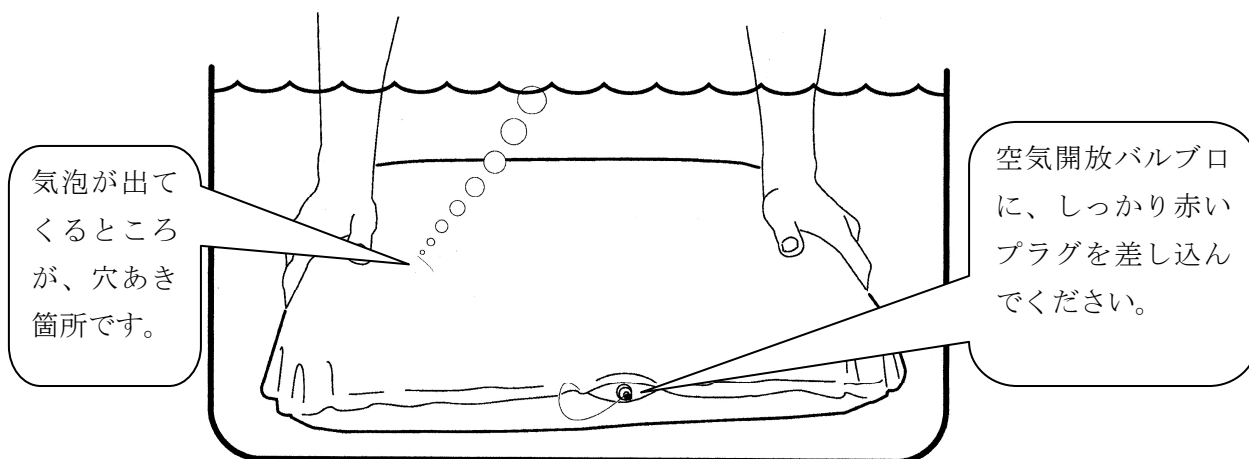
※ クッション内に絶対に水が入らないようにご注意ください。

4. クッションを水の中に漬けてください。

5. クッションが空気漏れしていれば、穴あき箇所から小さい気泡が上がってきます。

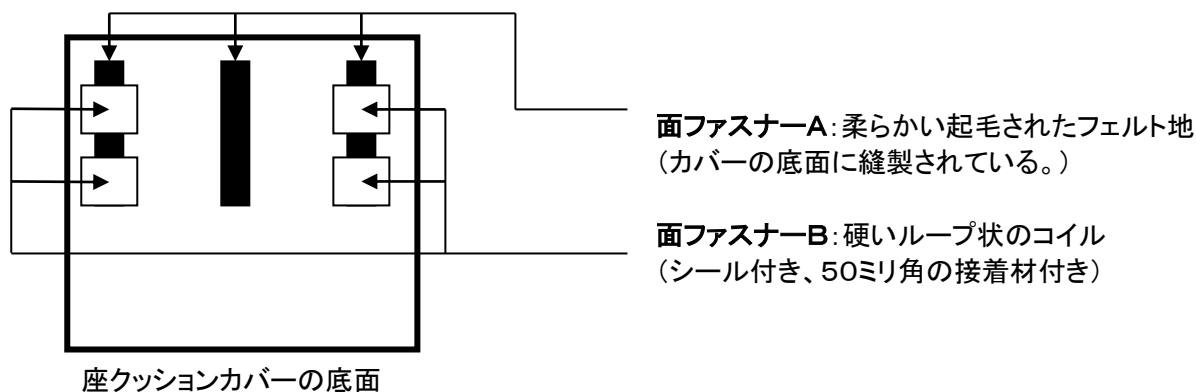
裏表などをひっくり返して、よく観察してください。

6. 穴あき箇所が見つかりましたら、×・○などの印を付けてください。そして、早めにクッションを提供されている会社、またはご購入いただいた会社へご連絡してください。



面ファスナーの使い方

座クッションのカバー底面には、下図のように面ファスナー（時には、マジックテープ・ベルクロなどと呼ばれています）が付いています。



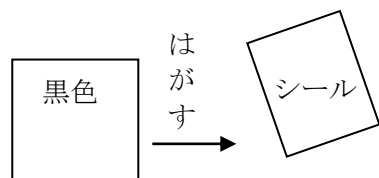
● 通常の使い方

カバーの底面に付いている4枚の「面ファスナーB」を外してから、座クッションをご使用ください。
カバー底面には、ポリウレタン加工が施されており、ご利用者が座クッションに座ったときに、クッションが前方へ滑りにくくなっています。

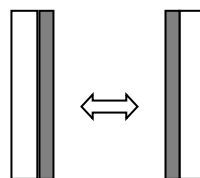
[ご注意] 「面ファスナーB」を外さずにクッションをご利用されると、接着面に付いているシールで滑りやすくなりますので、必ず外してください。

● 「面ファスナーB」の使い方:

1. 車いす座シートに、「面ファスナーB」が縫い付けてある場合：
クッションカバーの底面に、「面ファスナーA」が縫製されていますので、そのまま車いすの座シートに載せていただければ、クッションは強く固定されます。
2. 車いす座シートに、「面ファスナーA」が縫い付けてある場合：
4枚の50ミリ角の「面ファスナーB」のシールをはがし、接着面同士を張り合わせ、両面とも「面ファスナーB」を作ってください。4枚付いていますので、2組作れます。
この2組の両面ファスナーBを、座シートの「面ファスナーA」とクッションカバー底面の「面ファスナーA」の間に差し込むことで、クッションは座シートに強く固定されます。



黒い50ミリ角の「面ファスナーB」から、シールをはがす。



2枚の50ミリ角「面ファスナーB」の接着面同士を張り合わせる。



「面ファスナーB」のご注意:

シールをはがし、車いすの座シートに直接、貼り付けしないで下さい。

時間が経つとはがれます。また、座シートに付いた接着剤は取れませんので、お止め下さい。必ず、面ファスナーの使い方を読んでから、ご使用下さい。